



11月1日

トマト、カリフラワー圃場の定植前作業。畝作り。
SEWAと協議して施肥設計のうえ、NP
Kを施肥実施。



<p>11月5日</p>	<p>スキーポン、フジミン、SOMRE、F. T.Eを圃場へ散布。</p>	 <p>The top photograph shows a field with several wooden stakes driven into the soil, likely for supporting plants. The middle photograph shows a person in a patterned shirt and dark pants handling a green plastic bottle, possibly containing a liquid fertilizer or pesticide. The bottom photograph shows three red plastic trays filled with small green seedlings, ready for planting.</p>
<p>11月5日</p>	<p>定植作業</p>	 <p>The photograph shows a group of people working in a field. Some are kneeling on the ground, possibly planting or tending to the soil. The field is divided into rows, and there are some stakes visible. The background shows trees and a building.</p>

<p>11月11日</p>	<p>定植後の圃場状況</p>	 
<p>11月21日</p>	<p>定植後2週間後の圃場状況。雑草の繁茂が目立つようになってきた。</p>	 





<p>11月25日</p>	<p>TOMATEC、八千代エンジニアリング、サグリ、圃場訪問。 圃場の雑草の繁茂が悪化していたので、SEWAへ改善を申し入れ。</p>	 
<p>12月1日</p>	<p>カリフラワー圃場での雑草除去作業実施。</p>	
<p>12月9日</p>	<p>サカタ種苗の追加圃場準備</p>	
<p>12月19日</p>	<p>トマト、カリフラワーの実が形成され始める。</p>	 

12月29日	カリフラワーが成熟し始める。	
1月10日	カリフラワー収穫開始	
1月12日	トマト成熟開始	
1月21日	収穫セレモニー実施	

1月23日	トマト、カリフラワーをレストランへ配送。	
2月	適宜、成熟度に応じてトマトを収穫	
3月6日	デンソーによる配送デモ実施	

<栽培記録：大根、かぼちゃ、スイカ>

12月15日	圃場整備、定植開始	
--------	-----------	--

12月16日	点滴灌漑設備の設営	
12月17日	基本施肥実施。各種バイオスティミュラント、FTE施行実施。	
1月10日	小泉製麻シート設営	
1月	大根、かぼちゃ、スイカの成長が進む。	

2月1日	大根の成熟開始、順次収穫も実施。	
2月7日	大根も販売実証開始。	
3月8日	かぼちゃの花が芽吹く。	

令和4年度インド国モデルファーム事業（JMF）の進め方について

令和4年5月26日
令和4年7月21日改定
JMF推進ユニット
農林水産省輸出・国際局新興地域G
八千代エンジニアリング（株）

1 事業推進体制等

（1）取組方針

- ① JMF事業の横展開に向けて、これまで（令和元年度～3年度で）の実証結果を踏まえ、提供された技術等の現場への実装・普及に向けた活動に加え、流通面や販売面での情報収集・実証に重点をおく。
- ② 令和3年度に参画いただいた企業による構成を基本としつつ、本事業の趣旨に賛同しその発展に寄与する企業についてはオブザーバー参加も含めて様々な形で協力、参画を求める。
- ③ 株式会社八千代エンジニアリングをプロジェクト管理者、Sagriを現地プロジェクト管理者、SEWAをインド側カウンターパートとして活動を行う。
- ④ 生産実証期間中は、インド側関係者による現地見学や参画企業の商談の場を設定する等により、提供された技術の実装・普及を行うとともに、モデルファーム事業を通じ、インドへの進出日本企業数の増大と同国の農業における課題解決へ貢献する。

（2）活動内容

- ① モデルファームでの野菜の栽培と、栽培・収穫後の流通の各段階における参画企業の製品・技術の実証・実演
- ② 収穫物のスーパー、小売店等での実証販売
- ③ スーパー・小売店等での試食会等イベントの開催

2 今後のスケジュール

(1) 令和4年度実証栽培キックオフ会議

- ・日時：9月（種苗の生育等現地の作業状況を踏まえて調整）
- ・形式：現地開催（グジャラート州 Mehlav 村、SEWA ほ場）
- ・参加者：SEWA（代表者ほか）、プロジェクト管理者、農水省（新興地域 G）、参画企業（任意）

(2) 実証開始（作付）

実証圃場において、農作物の栽培を行う。

栽培品目は下記のとおり。

第一期(8月～)	ミニトマト	かぼちゃ	カリフラワー
第二期(11月～)	ミニトマト	大根	スイカ（※）

作期については、今年のインドの異常気象（熱波）やそれに伴うモンスーン時期の変動可能性、大雨等もあり、現実的な気候状況や見通しに合わせて適宜見直す。

- ・時期：（第1期）令和4年8月～、（第2期）令和4年11月～
- ・場所：インド グジャラート州 Mehlav 村（昨年度と同様）

（※）スイカについては、11月～播種の品種が日系種苗会社にはなく、ローカル品種を探すか、他の品目に変更する可能性がある

(3) 実証販売イベント等

実証圃場で収穫した農作物を、現地のスーパー等に流通させ、実証販売を行うとともに、インドでの作物の流通及び販売に係る課題の調査・分析を行う。

- ・日時：（第1期）令和4年11月頃、（第2期）令和5年3月頃
- ・場所：現地の小売店・スーパー等

(4) セミナーの開催

インド進出時の障壁や負担軽減を目的とし、参画企業向けにインドビジネス関連セミナーを開催する。

- ・日時：別途調整

- ・テーマ：インド農業分野の現状（JICA）／現地進出の実情と課題（Taiyo India と JETRO）を予定
- ・場所：オンライン

（５）成果報告会

令和４年度のプロジェクトの成果について国内でマスコミ等を招き成果報告会を開催。SEWA の代表者（Mansi さん）を日本へ招聘、参加いただき、参画企業や JMF 推進ユニットとともに、これまで（４年間）の成果及び来年度以降の展開について報告。

- ・日時：令和５年２月１３日（月）
- ・場所：農林水産省内

（６）UP 州について

昨年度までの実績及び参画企業からの要望等を踏まえ、本年度は GJ 州の実証との連携を重視し、UP 州の農民組織や民間企業等の関係者を GJ 州のモデルファームへ招聘する等して UP 州事業の展開を図る。

①Farmer Producer Organization (FPO) ・商工会議所（民間企業）・大学等向け説明イベントの開催

参画企業の技術や製品を UP 州の FPO や他の組織向けに説明・紹介するイベントを開催。（GJ 州のモデルファームで開催し、製品が実際にどう使われているかを見せながら説明・紹介することを想定。）

- ・日時：別途調整
- ・形式：現地開催（GJ 州ほ場）＋オンライン

②モデルファーム設置に向けた調査

UP 州でのモデルファーム設置に向けて必要な情報収集を実施。